

## 第19回国際金融規制研究会議事要旨

1. 日時：2025年4月18日（金）14：00～16：00

2. 場所：太陽生命日本橋ビル12階 証券団体会議室

### 3. 議題

- (1) 最近の国際金融規制の論点・課題
- (2) バーゼルⅢ最終化と規制の在り方について

### 4. 議事内容

- 議題（1）では、小立敬委員（野村資本市場研究所研究部主任研究員）より、2023年3月の銀行混乱（2023 Banking Turmoil）の教訓、主要法域におけるバーゼルⅢ最終化の遅れ、ノンバンクのレバレッジに対する政策上の焦点、金融デジタル化による金融安定のリスク等について報告があり、これを受けて質疑応答が行われた。
- 議題（2）では、佐々木百合委員（明治学院大学経済学部長）より、バーゼル規制の推移、バーゼルⅢの概要と最終化、導入によるマクロ的なインパクト、懸念されるポイント（Risk-Weighted Assets のばらつきへの資本フロア規制・レバレッジ比率規制による対応）、規制の適用時期および規制の在り方等について報告があり、これを受けて質疑応答が行われた。
- 最後に、天谷知子座長（農林中金総合研究所 エグゼクティブアドバイザー）より、次回の研究会では、規制と法務の観点からの課題や、規制と日本の国際対応に関するテーマを取り上げる方針が示された。

以上